

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	岩泉町における循環のみちの実現（防災・安全）													
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	岩泉町													
計画の目標	公共下水道岩泉処理区のストックマネジメント計画を策定し、施設の計画的な維持管理を行う。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		163	A	163	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30年度当初	H31年度末	令和4年度末
1	岩泉処理区のストックマネジメント計画策定率を0%（H30年度当初）から100%（H31年度末）にする。 岩泉処理区のストックマネジメント計画策定率 H31年度末 岩泉処理区のストックマネジメント計画策定済みの処理区数（箇所） / H30年度当初 岩泉処理区の処理区数（箇所） × 100	0%	100%	100%
2	岩泉処理区の処理場及び汚水ポンプ場の老朽化対策率を0%（R2年度当初）から100%（R4年度末）にする。 岩泉処理区の処理場及びポンプ場の老朽化対策率 R4年度末 岩泉処理区の改築更新済みの設備数（箇所） / R2年度当初 岩泉処理区の改築更新が必要な設備数（箇所） × 100	0%	0%	100%
3	岩泉処理区の処理場（管理汚泥棟）の耐震診断調査達成率を0%（R4年度当初）から100%（R4年度末）にする。 岩泉処理区の処理場管理汚泥棟の耐震診断調査達成率 R4年度末 耐震診断調査が完了済みの管理汚泥棟数（棟） / R4年度当初 耐震診断調査が必要な管理汚泥棟数（棟） × 100	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	岩泉町	直接	岩泉町	-	-	ストックマネジメント計画策定	調査・計画策定	岩泉町/岩泉処理区						9		策定済	
		ストックマネジメント																		
	A07-002	下水道	一般	岩泉町	直接	岩泉町	終末処理場	改築	岩泉浄化センター(長寿命化対策)	水処理施設、機械・電気設備他(改築)	岩泉町/岩泉処理区						98		策定済	
		ストックマネジメント																		
	A07-003	下水道	一般	岩泉町	直接	岩泉町	管渠(汚水)	改築	マンホールポンプ場(長寿命化対策)	機械・電気設備他(改築)	岩泉町/岩泉処理区						35		策定済	
		ストックマネジメント																		
	A07-004	下水道	一般	岩泉町	直接	岩泉町	終末処理場	-	岩泉浄化センター管理汚泥棟(地震対策)	耐震診断調査	岩泉町/岩泉処理区						21		策定済	
		ストックマネジメント																		
											小計						163			
											合計						163			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
岩泉町 (上下水道課下水道室)内により事後評価を実施。	令和7年2月
	公表の方法 岩泉町ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	岩泉処理区のストックマネジメント計画策定率が0.0%から100.0%に増加した。 岩泉処理区の処理場及びポンプ場の老朽化対策達成率が0.0%から100.0%に増加した。 岩泉処理区の処理場(管理汚泥棟)の耐震診断調査達成率が0.0%から100.0%に増加した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況(必要に応じて記述)	ストックマネジメント計画に基づいて施設の長寿命化対策を実施したことにより、ライフサイクルコストの縮減を図ることができた。 社会資本総合整備計画に基づき計画的な改築更新工事を実施したことにより、老朽化施設の機能回復と健全度の向上が図られた。
特記事項(今後の方針等)	
引き続き各事業を進めることにより、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
岩泉処理区のストックマネジメント計画策定済みの処理区数（箇所） / 岩泉処理区の処理区数（箇所） × 100		
計画通りに事業を完了することができた。		
2	最終目標値	100%
	最終実績値	95%
岩泉処理区の改築更新済みの設備数（箇所） / 岩泉処理区の改築更新が必要な設備数（箇所） × 100		
計画の見直しにより目標値と実績値に差が生じたが、概ね事業を完了することができた。		
3	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
耐震診断調査が完了済みの管理汚泥棟数（棟） / 耐震診断調査が必要な管理汚泥棟数（棟） × 100		
計画通りに事業を完了することができた。		